

国際協力イベント

10月6日の「国際協力の日」に合わせて、毎年10月に東京と横浜で国際協力イベントが開催されます。日本ハビタット協会も参加し、国連ハビタットや日本ハビタット協会の実施する事業の紹介、居住環境の重要性を広報しました。

グローバルフェスタ JAPAN 2014

日程 10/5-6 場所 日比谷公園

国際協力関連の学部や授業を履修している学生が多く訪れ、日本ハビタット協会や実施事業について熱心に耳を傾けていました。ハビタットフレンズ東京の方々が手伝いに来て下さり、ブースは大賑わいで、充実した外貨コイン仕分けワークショップや広報活動を行うことができました。



よこはま国際フェスタ 2014

日程 10/19-20 場所 象の鼻パーク

来場者が多く、賑やかなイベントとなりました。復興の桑茶の販売もとても好調で、あついう間に完売しました。ハビタットフレンズ東京、三島、ユースの方々が手伝いに来て下さり、多くの来場者に国連ハビタットと日本ハビタット協会を知っていました。

第18回理事会



11月5日、ふくおか会館の会議室で第18回理事会が開かれました。あらたに滝澤進氏が理事に選任され、副会長に互選されました。これまで日本ハビタット協会催行のチャリティコンサートなどに大変協力いただきました。運輸省（現国交省）での要職、会社、団体などで実績をあげ、早速当協会のマネジメント強化に力を発揮中です。事務局の仕事などを通じて会員、寄付者の皆様のために貢献していただけます。

企業による社会貢献活動

多くの企業が毎月2回開催しているボランティアデーへの参加のほか、企業の各事業所で外貨コイン仕分けをして下さっています。また、企業からの寄付金や助成金により支援事業を実施することができます。2012年4月より開始したラオスでの植林事業は多くの方々の支援により、3年間で112.7ha43,762本を実施することができ、自然と人々の暮らしを守られたまちづくりが進んでいます。これからもあたたかいご支援ご協力を事業につなげていきたいと思います。



★ご協力いただきありがとうございます★ 2014年6月1日～2014年11月 (敬称略・順不同)

ご寄付

国際ソロブチミスト 熊本一さくら・沖縄・佐賀・東部・壱岐・長崎ガーランド、(有)岩田時計店、ふくおか会館、福岡空港ビルディング(株)、熊本空港ビルディング(株)、(株)新橋スタンプ商会、成田国際空港(株)、関西国際空港(株)、東京国際空港ターミナル(株)、中井禮子、ごとうたくま、あらた監査法人有志一同、ペンデル税理士法人、ハート薬局、笠留美子、丸井聰、菊地柳秀、東京番町ライオンズクラブ、宮田秀子、原田義信、光武耕一郎、高島肇久、高濱遼平、坂本春生、笛木爵、山村より子、(有)タカーズ・カンパニー、東京共済病院、松本賢次、松本正子、新井てつお、村田由紀、丹波佐和子、明治大学校友会、中村勇、プライスウォーター・ハウスクーパース(株)有志一同、長谷川隆徳、長島定則、長島道子、田中正昭、田野井弥生、樋口謙一郎、加藤弘子、(株)アイホー炊飯総合研究所、豊島百合子、堀保子、満瀬麗子、粉山正行、鈴木有、六波羅昭、蘆野進、(有)藤田建設商会、広田邦彦、立花成子、アズビル(株)、湘南国際マラソン実行委員会、湘南国際マラソン事務局、ハビタットフレンズ仙台・ハワイ

切手・書き損じハガキ

高梨真一郎、全日本空輸(株)



ご協力いただいた団体

ニューサンノー、(株)新橋スタンプ商会、ソフトバンクモバイル、ハビタット福岡市民の会、地球環境基金、ちよだボランティアセンター、シリックス・システムズ・ジャパン(株)、認定NPO法人ふるさと回帰支援センター、(有)マレイアソシエイツ、岩手大学、農事組合法人シャンドウミュリエ、(社)日本フィナンソロピー協会、ジャストギビングジャパン、三井物産(株)、(公財)三菱商事復興支援財団、あおぞら銀行、(株)アイ・コミュニケーションズ、ハビタットフレンズ東京・名古屋・仙台・九州・ユース・中野・ハワイ・三島

コインわけにご協力いただいた企業・学校

(株)ジェーシービー本社・大阪支社、シリックス・システムズ・ジャパン(株)、日本メドトロニック(株)、積水化学工業(株)東京工場・東京本社、福岡県立福岡魁誠高等学校、三井物産(株)

発行：認定NPO法人日本ハビタット協会（発行責任 伊木常昭／編集責任 山本博子）

〒102-0083 東京都千代田区麹町1-12 ふくおか会館1階 TEL: 03-3512-0355 / FAX: 03-3512-0358
E-mail: info@habitat.or.jp / URL: http://www.habitat.or.jp

デザイン・イラスト: 母袋秀典
2015年1月発行



HABITAT まちづくり通信 No.26

清潔なトイレで学校生活を明るく楽しく！

ムンザツィ学校トイレ建設プロジェクト

2014年7月よりケニア西部の都市キスムから北に約18kmのムンザツィ村にあるムンザツィ学校で男子用トイレと水浴び場の建設が始まりました。この学校では小中高校生あわせて約800人の生徒が学んでいます。清潔なトイレがあると衛生環境が改善されるだけでなく、出席率も改善されます。特に女の子にとって、精神的肉体的負担が軽減され、安心して学校に通えるようになります。水浴び場や手洗いできる環境も一緒に整えることで、病気になるリスクも減らすことができます。トイレの後や食事の前に、石けんと水で手を洗うだけで命を脅かす病気を予防することができます。

建設工事には住民だけでなく、生徒達も参加しています。住民が建設に携わることで将来修理が必要になった場合も自分たちで修理することができます。住民自らが自分たちのコミュニティを良くしていくというハビタットらしい事業が進んでいます。

生徒全員が安心して学校生活を送れるよう、今後女子用トイレ、給水・浄化設備を整備していきます。この事業は日本ハビタット協会福岡支部発の事業です。福岡空港や福岡市内に設置してある募金箱のほかに福岡の方々から寄せられた募金がこの事業に役立てられています。



建設中の男子用トイレ



建設を手伝うが男子生徒



完成待ちわびる低学年の生徒たち



手洗い場

トイライブラリープロジェクト 絵本プロジェクト

ラオスのルアンプラバーン県では、子ども達がおもちゃや本に接する機会や環境が整っていません。家におもちゃや絵本があることはほとんどなく、学校にももちろんありません。おもちゃや本は子どもたちの創造力を育み情緒を高め、協調性や運動能力を養う重要な役割を果たし、学校生活をより豊かに楽しくすることができます。

日本ハビタット協会は、今年からラオスの子ども達におもちゃと本を送る事業を始めました。おもちゃは日本おもちゃ図書館財団からの協力を得て日本から送り、本はラオス語のものを現地で購入します。今年度は6校の小学校におもちゃを、11校の子どもたちに本を送る予定です。

2014年9月3日、ラオスのパクムッド小学校でおもちゃの贈呈式が行われました。今回届けたのは、ブロック、縄跳び、サッカーボールなどです。おもちゃを初めて見る子どもも多かったのですが、子どもたちは興味津々で手を取り、すぐに夢中になって遊び始めました。本を送った学校の子ども達も時間が経つも忘れて、次々と読み始めました。

今後この事業をさらに拡げ、子どもたちが自由に遊び、興味を広げながら自分たちの能力や可能性を高めていく一助になればと思っています。



マリ・クリスティーヌ

復興の桑プロジェクト 「KUWA CHOCO」ができました！

東日本大震災の復興支援事業として実施している「復興の桑プロジェクト」は3年目に入り生産量が増えました。天候に恵まれたため、今年は桑の生育も良く、味の良い桑パウダーができました。日本ハビタット協会ではこの事業を六次産業としてさらに発展させるために、桑パウダーを使って生チョコレート「KUWA CHOCO」を作りました。桑の風味が生きた、栄養豊かなチョコレートになりました。桑には糖の吸収を阻害するDNJ（1-デオキシノジリマイシン）という成分が含まれている他、カルシウムは牛乳の25倍、鉄分は鶏レバーの5倍、食物繊維はごぼう並に含まれています。この「KUWA CHOCO」の売り上げは、「KUWA CHOCO 子ども基金」として、東日本大震災で被災した子ども達の支援に活用されます。

桑パウダー入り 生チョコレート
KUWA CHOCO

1箱 16個入り
¥1,000(税別)

バレンタインデーには「KUWA CHOCO」を贈り、
子ども達の復興支援にご協力ください。

お申し込み 日本ハビタット協会のホームページからお申し込みいただけます。<http://www.habitat.or.jp>



元気に育つ「復興の桑」

あつたかサポート in ボスニア ボスニア大洪水復興支援



上：洪水被害の家屋
右：豪雨による土砂崩れ

2014年5月ボスニアで記録的な豪雨により発生した大洪水は大きな被害をもたらしました。首都サライエヴォの北西約20キロにある人口27,000人の町ヴィテツでも多くの方が被災しました。ボスニアは1990年代に激しい戦乱に巻き込まれて荒廃し経済発展が進まず、国民一人当たりの所得（GDP）は今でも1990年の水準とほとんど変わりなく、世界の最貧国の一つです。そのため、ボスニア政府にはヴィテツの復興に注ぐ余力がなく、ヴィテツの市民達が自らの力で復興の努力をしている状況です。2014年12月、ヴィテツは北海道なみの厳しい寒さをむかえたため、学校や保育所の子ども達に防寒着やブーツ、毛布を贈る「あつたかサポート in ボスニア」を実施しました。この事業の実施にあたり、地元NGOであるDAMARとハビタットフレンズ仙台の創立者の一人で現在ボスニア在住のエディータ・ジャポさんが協力して下さいました。また、ハビタットフレンズ仙台、ハワイとプライスウォーターハウスクーパース株式会社からご支援いただきました。みなさまのあたたかいご支援ご協力に心より感謝申し上げます。

子ども達が災害に負けずに、元気に暮らすことができるよう祈っています。



福岡から笑顔あふれるまちづくり

ムンザツイ学校のトイレ建設事業は、福岡発の事業です。日本ハビタット協会福岡支部が積極的に広報と募金活動を行っています。2014年11月15～16日にアクロス福岡で開催された「地球市民どんたく2014」では、トイレ建設事業の紹介やクイズ形式で世界のトイレについて考えるワークショップを行いました。来場者は初めて聞く世界のトイレの話に聞き入って下さり、多くの方々にトイレの重要性を伝えることができました。福岡支部が一丸となり、2歳の双子の最年少ボランティアも大活躍し、日本ハビタット協会のブースだけでなく会場全体を盛り上げました。ムンザツイ学校の生徒達が楽しい学校生活を送れるよう、福岡発の笑顔あふれるまちづくりにご協力をお願いします。



● 三井住友銀行 麻町支店 普通口座 9121975 特非)日本ハビタット協会

● 郵便振替 00150-3-568405 日本ハビタット協会・まちづくり基金口 ※振込用紙に「ケニア学校支援」とご記入ください。

● クレジット・カード (VISA、Master Card) でもご寄付いただけます。

日本ハビタット協会のホームページより手続きをお願いします。▶▶▶ www.habitat.or.jp

第3回 国連世界防災会議 「あの日のこと」から「いつか来る日」を考える

2015年3月14日(土)～18日(水)に国際的な防災戦略を策定する国連主催の会議が東日本大震災の被災地である仙台で開催されます。2005年に神戸市で開催された第2回会議では国際的な防災の取組指針である「兵庫行動枠組(HFA)」が策定されました。今回の会議では2015年以降の新たな国際防災の枠組が策定されます。

本会議に合わせパブリック・フォーラムが開催され、世界の防災文化の発展に寄与すること目的したさまざまなシンポジウムやセミナー、展示等が行われます。日本ハビタット協会は、予想がつかない大災害に向けて必要なことについて考えるシンポジウムを開催します。

東日本大震災の時に、市民力が発災直後そして復興にどのように役立ってきたのかを伝え、今後いつしかかるかもしれない災害に対して準備し、心がけておく大切なこと「人のつながりこそが防災と復興の原点である」について考えます。みなさまのご来場をお待ちしております。

パブリック・フォーラム

「あの日のこと」から「いつか来る日」を考える～市民力が發揮された支援と復興への歩みから学ぶこと～

日時 2015年3月16日(月) 12:30～(開場12:20)

※開場時間が多少変更になる場合があります

場所 仙台市民会館 会議室5

入場 無料

ハビタットサンタ



志津川保育所の子どもたち

日本ハビタット協会は2011年から毎年東日本大震災の被災地の子どもたちが楽しい冬休みを過ごせるように、クリスマスプレゼントを届ける「ハビタットサンタ」を実施しています。今年は南三陸町の志津川保育所に学習発表会で使用するひな壇と紙芝居、石巻市立雄勝小学校と石巻市立釜小学校の子ども達には図書カードのクリスマスプレゼントを届けました。志津川保育所に贈ったひな壇は発表会で大活躍しました。「被災地の事を忘れないでいてくれることに感謝します」と心のこもったお礼の手紙が届きました。



ハビタットクイズ コインに関する問題だよ！



Q1

EU(欧州連合)に加盟している国で、
共通通貨であるユーロを使わずに、
自分達の国の通貨を使っている国があるよ。
どの国かな??



① スペイン



② フィンランド



③ ベルギー



④ イギリス



⑤ ドイツ



Q2

コインにはその国の特徴が刻印されているんだ。図柄から国名を当ててみよう!
(図柄と国名を線でむすんで答えてね)



ハート



キウイバード



ピース



カモノハシ



ピンクリボン